

経済産業省推進資格



## 2023年11月度

### 【ネットワーク促進部】

#### <受託事業に関する取り組み>

★「令和5年度内閣府沖縄型産業中核人材育成事業・事業者のDXを見据えた、デジタル化推進人材育成+講師育成プログラム」は、11月24日で全14回のうち9回が修了しました。受講生がDXを見据えたデジタル化計画策定のフェーズに入って討議を進める中で課題になるのは、知識の少ない“デジタルツール”です。11月2回にわたり県内のITベンダー8社にツールの紹介・課題解決事例を講演していただきました。具体的な事例とツールを見聞きすることで自社の課題解決のための計画が具体的にイメージできてきたようです。(山川担当)

#### <他企業・団体と連携した専門家派遣事業>

★国が認証する唯一の情報セキュリティ認証「技術情報管理認証制度（TICS）」は、サプライチェーン全体のセキュリティ対策向上の要請に応えて、今年度「自工会・部工会サイバーセキュリティガイドライン」と連携した制度改定の検討に入りました。早晩、自動車業界を取引先とする中小企業はもとより全ての業界でサイバーセキュリティ対策の徹底、チェックが求められることが想定されます。当協会はTICS認証機関の日本金型工業会、日本金属プレス工業協会と審査業務契約を締結しセキュリティ対策向上を目指す中小企業の指導助言・認証審査を実施中です。今年度も公募によるITC専門家60数名の方々に地元・近県企業へのセキュリティ対策向上支援を委託し、これまでに31社への専門家派遣を実施しています。(松下担当)

★協会が連携協定を締結しているDX-Tokyo社から、大阪や宮崎の企業を支援する人材の募集協力要請があり、各地域のITCにメールを発信しました。多くのITCより応募をいただき、今後DX-Tokyo社により支援者選定が実施されます。(比留間担当)

#### <自治体関連取り組み>

★自治体ビジネス WG は 11 月 22 日に年内最後 11 回目の WG を開催いたしました。WG メンバー協力により 11 月にも案件が増え OJT 案件 12、マッチング案件 8 となりました。年度目標は OJT5 件でしたので、大幅増の成果となりました。年度後半は次年度の活動の準備に入ります。12 月 5 日発行の「自治体通信」にチラシの同梱をはじめとして、総務省・自治体・関係団体へのプロモーション活動も始めています。また、OJT 実施から得られた実務マニュアル作成、第 2 期の WG メンバー募集、次年度の研修準備なども行っていきます。(山川担当)

★島根県では令和 4 年度より県内中小企業に対して、しまねデジタルイノベーション推進事業を行っています。当初より中国地域の IT コーディネータが専門家として相談会や伴走支援を行っています。先日、当該事業の専門家として活動している IT コーディネータと島根県様を訪問し、事業の状況や改善点など意見交換を行いました。次年度も継続を計画しているとのことですので、IT コーディネータのさらなる活躍が期待されます。他都道府県で同様の事業のお話しなどがありましたら、IT コーディネータ協会もぜひ使っていただければと思います。お気軽にご相談ください。(山川担当)

★ITCA が長野県で令和 5 年度に取り組んでいる IoT 導入実践研修第 3 回目(11 月 30 日～12 月 1 日)は、地元企業の工場を見学。現在の状態を確認後、3 つのチームに分かれ課題洗い出しを実施。今後、3 回のセッションに分け、提案内容の検討を実施し、課題から具体的な IOT 導入目標や導入計画の立案迄を整理し、2024 年 1 月末のプレゼンに臨むこととなります。(松田担当)

## <ビジネスマッチング>

★「(株)ブリッジにいがた」で実施中の「DX 推進意識改革支援事業」は金融機関社員や商工団体の経営指導員等の支援者を育成する目的で実施されており、11月28日開催の組織向けセミナー「目指すDX 推進人材とは/銀行員だからできるデジタル化支援等」では、ふくおかフィナンシャルグループ様にご登壇いただきました。(松田担当)

★某地域の税理士会(単会)より自組織デジタル化に関する相談を受け付けました。各税理士会では総会運営のデジタル化が新たに法律で制定される等、実施必須の項目を複数抱え対応に苦慮されておられることが予想されます。上記案件は地元の届出組織と連携し、今後顧問契約を締結する方向で調整しておりますが、全国の他税理士会においても同様の状況が考えられ、改めて各税理士会へのアテンドを実施されることをご提案いたします。(比留間担当)

★11月7日～8日に、ビジネスマッチ東北2023(しんきんフェア)に弊協会ブースを出展し、弊協会のPRを実施。地元企業の販路を拡大しようと毎年、東北の企業でつくる協議会などが開いているもので、18回目となる今回は、過去最大規模の498の企業や団体が参加。コロナで生活様式が変わったことで、各ブースに新しいビジネスの特徴が出ており、来場者には、ビジネスのトレンドを学ぶよい機会となったと思われまます。(松田担当)

## <中小企業共通 EDI に関する取り組み(鈴木、野田担当)>

★11月9日に共通EDI推進サポータ連絡会を開催し、80名を超える方にご参加いただきました。今回は3名のサポータの方に共通EDI導入支援事例について、課題や苦労した点は勿論、ITCとしてのビジネス面や費用面等も含め詳しくご紹介いただきました。参加者アンケートでは「導入事例が大変具体的で支援時の課題等も整理されており大変参考になった」等とのコメントを頂戴しました。

★共通EDI推進サポータの皆様に対してアンケートによる活動状況調査を行いました。調査結果は、サポータ連絡会の参加者アンケートとあわせて生成AIも活用して分析を行いました。分析結果からは「実際の導入支援を経験する場」を求める声なども多くあり、事務局ではこれらを参考に益々サポータに対する支援の充実を図ってまいります。

★協会が運営する「つなぐIT推進協議会」第2回普及企画部会を11月30日に開催しました。今回の部会より、全国中小企業団体中央会(全国中央会)様に委員として参加いただき、同会の事業概要のご説明をお願いしました。特に同会の「組合等情報ネットワークシステム等開発事業」では組合内の受発注業務のデ

デジタル化に係わる事例も多くあり、普及企画部会としては中小企業共通 EDI のご提案も含め協力体制を作っていきたいと思えます。

★つなぐ IT コンソーシアムの「将来ビジョン検討部会」を 11 月 15 日に開催しました。本部会は「企業間取引の現状認識と将来動向の共有」を目的に、以下の活動を行うこととなります。

□実務者で企業間受発注・請求・決済の現状認識を共有する（共通 EDI に限定しない）

□ChatGPT 等の AI 発展により、企業間取引は将来的にどこまで可能になるか

→ EDI の AI 利用で、自動発注が実現するには・・・

年度内につなぐ IT コンソーシアムとして報告書をまとめたいと思えます。

#### 【研修制度デザイン部】

★11 月末現在、ケース研修では 348 名のお申込みをいただいております（昨年同時期比+103）。今後初日を迎えるコースも多く、より多くの方に受講いただけるよう引き続き集客活動に取り組んでまいります。

★ITC 試験関連では、資格紹介のチラシを作成するにあたり金融機関への取材を進めています。今後は職種別に焦点をあてていきたいと思えます。2023 年度第 2 期試験（第 52 回）は、1 月 18 日申込開始、1 月 25 日受験開始を予定しております。詳細は資格取得サイトにてご確認ください。

→ <https://itc-shikaku.itc.or.jp/exam/#exam-day>

★フォローアップ研修では、2021 年度認定の方でフォローアップ研修（集合研修）のお申し込みが完了していない方に、3 月末に受講期限を迎えるご案内を郵送いたしました。2021 年度認定の方は、来年度資格更新にあたりフォローアップ研修の受講が必要となります。すでに残席が少なくなっている講座もございますのでお早めに受講をご検討ください。

★ITCA 研修では、11月29日に「中小企業の求めるDX人材像を知る！」のセミナーを開催いたしました。多数のITCの方にご参加いただき、アンケートではご自身のビジネスでも大変に参考になるという意見を多くいただきました。今後も、ITCビジネスのヒントになるようなテーマでセミナーを企画してまいります。

#### 【コミュニティデザイン部】

★今年で22回目を迎える『ITCカンファレンス』を、11月17日（金）18日（土）の両日、ベルサール神保町アネックスにて開催いたしました。昨年同様、会場と並行してオンラインで同時配信するハイブリッド形式にて実施し、2日間で延べ1,700名近くと、今年も多くの方にお申込みいただきました。今回は「DX成功の鍵はITコーディネータにあり」をテーマに、DX推進に向けて優れた知見を公表されている有識者の方々にご講演をいただいたほか、昨年に引き続き「DX認定部門」の企業とITCの表彰、今回新設の「実績表彰部門」のITCの表彰、また中小企業支援、自治体支援に取り組んでいるITCによるパネルディスカッションなど、全国で活躍するITCに多く登壇いただくプログラムとしました。現在、参加者アンケートの回答をとりまとめ中ですが、来年も多くのご意見をもとに、企画・プログラムを充実させてまいりたいと思います。

表彰結果および事例発表はこちらのお知らせをご覧ください。

→ <https://www.itc.or.jp/dlfile/ITCAawrad2023.pdf>